

解答

記号

200	199	198	197	196	195	194	193	192	191	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181	
痩せの大食い	安物買いの銭失い	門前の小僧習わぬ経を読む	桃栗三年柿八年	物言えば唇寒し秋の風	元の木阿弥	餅は餅屋	目は口ほどにものを言う	目の上のこぶ	目くそ鼻くそを笑う	無理が通れば道理引つ込む	昔取った杵柄	身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ	実るほど頭の下がる稲穂かな	三つ子の魂百まで	見ざる聞かざる言わざる	身から出たさび	ミイラ取りがミイラになる	丸い卵も切りようで四角	待てば海路の日和あり	

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
感情のこもった目つきは、言葉に出すのと同じくらい気持ちを表すものだ。	相手を説得しようとしたのにいつの間にか相手と同調してしまおう。	自分よりも立場が上で、何かとじゃまで目障りな人のたとえ。	物事は専門家に任せるのが一番である。	理屈に反したことが世の中で通用するようになれば、逆に理屈の通った正義は行われなくなるということ。	自分も似たような欠点をもっていることに気づかず、他人の欠点を笑うことのたとえ。	昔身に付けた技量のこと。また、それが年を取ってからも衰えないこと。	常日頃接していることは自然と身につくものだ。	悪い状況でも、あせらずに待っていれば、そのうち良いことがあるといこと。	自分がしたことが原因で災難にあうこと。	努力や苦労が無駄になってしまふこと。	幼いころの性格は、一生変わらないということ。	痩せているくせによく食べる人のこと。また、痩せている人には、案外大食いな人が多いということ。	物事を成し遂げるまでには時間がかかるものだということ。	喧嘩になってしまふこともあるということ。	言い方ややり方次第で、物事がうまくいくこともあれば、安物は品質の悪いものや使いにくいものも多く、すぐだめになるので、結局は損をしてしまふということ。	捨て身の覚悟で物事にあたって、はじめて成し遂げることができるといこと。	心の狭い人ほど偉そうにふるまい、優れた人物はむしろ控えめで、素直な態度でいること。	余計な発言で災いを招く。人の悪口を言うと、何となく後味の悪い気持ちになる。	自分に都合の悪いことや他人の欠点は、見ないふり、聞かないふりをして、余計なことはいわないようにすること。